

令和4年度

京都教育大学 教育学部
一般選抜 学生募集要項

本学の一般選抜の出願には「インターネットによる出願登録」と出願書類等の「郵送」が必要となります。



国立大学法人

京都教育大学

KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION

I. 本学の目的

京都教育大学は、学芸についての深い研究と指導とをなし、教養高き人としての知識、情操、態度を養い、併せて教育者として必要な能力を得させることを目的とする。

II. 教育学部の教育目的

教養高き人としての知識、情操、態度を育成し、学校教育、社会教育、生涯学習等の広い教育分野で地域社会に貢献できる人材を養成することを目指す。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

京都教育大学は教員養成大学として以下のような皆さんの入学を期待しています。

1. 倫理観と人権意識の大切さを認識し、将来は教師として地域や社会に貢献しようとする情熱と志を持つ人。
2. 子どもの成長に関わることに喜びを感じ、子どもを理解するために、教職に必要な知識や技能を身につける努力を惜しまない人。
3. 幅広い分野の知識・技能を持つとともに、志望する専攻領域と関連の深い教科に関して確かな学力や実技能力を有し、課題を深く思考できる人。
4. 教育の基礎となるさまざまな科学、文化、芸術、スポーツなどに関心を持って、広い視野で思考し、表現しようとする人。
5. 友人や周りの人たちと協働して学んでいく主体性と協調性を備えている人。

◆入学者選抜の基本方針

学校教員を志望するすぐれた学生を受け入れ、広く地域の教育に貢献するため、京都府内の高等学校に在籍する者を対象に小論文と面接で選考する学校推薦型選抜（地域指定）、地域の制限なしに主として小論文と面接で選考する学校推薦型選抜、大学入学共通テストと個別学力検査等を課す一般選抜・前期日程及び後期日程を行います。

アドミッション・ポリシーに示している「教師として地域や社会に貢献しようとする情熱と志」、「子どもを理解するために努力しようとする姿勢」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性と協調性」等を総合的に判断し、入学者を選抜します。

一般選抜における方針は、以下のとおりです。

一般選抜（前期日程）

幅広い分野の「知識・技能」を有しているかを主に大学入学共通テストと調査書で、課題を深く思考できる「思考力・判断力・表現力」を主に個別学力検査で、友人や周りの人たちと協働して学んでいく「主体性と協調性」を調査書・面接等で確かめます。

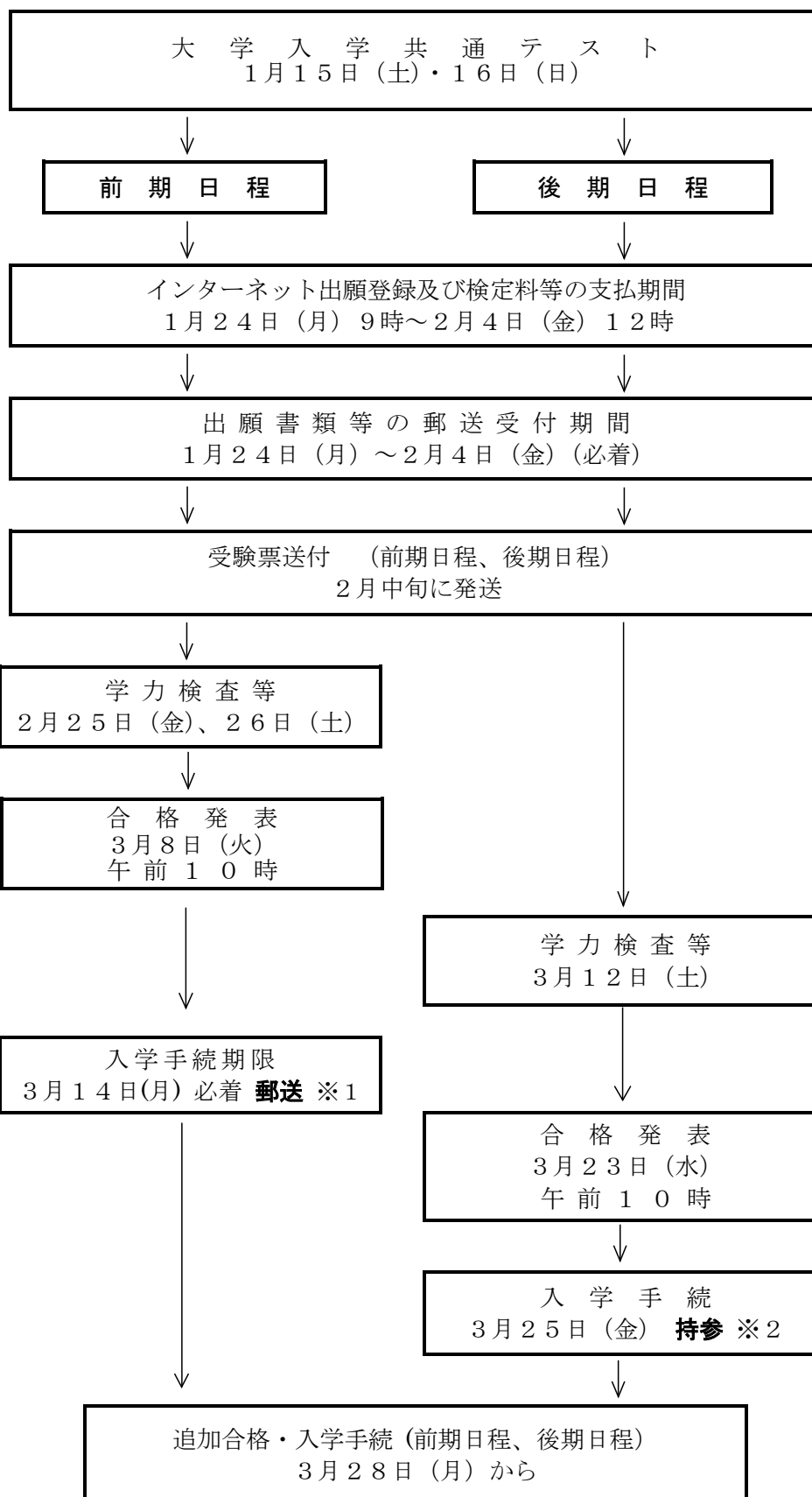
また、調査書、教員志望動機書に基づく面接では、「教師として地域や社会に貢献しようとする情熱と志」に加え、「子どもを理解するために、教職に必要な知識や技能を身につける努力」ができるかどうかにも評価します。

一般選抜（後期日程）

幅広い分野の「知識・技能」を有しているかを主に大学入学共通テストと調査書で、課題を深く思考できる「思考力・判断力・表現力」を主に小論文で、友人や周りの人たちと協働して学んでいく「主体性と協調性」を調査書・面接等で確かめます。

また、調査書、教員志望動機書に基づく面接では、「教師として地域や社会に貢献しようとする情熱と志」に加え、「子どもを理解するために、教職に必要な知識や技能を身につける努力」ができるかどうかにも評価します。

令和4年度 京都教育大学教育学部一般選抜日程の概要



※1 事前に申し出ることにより、3月15日(火)に持参も可

※2 事前に申し出ることにより、3月25日(金)までに郵送(必着)又は3月26日(土)に持参も可

目 次

	ページ
1. 募集人員	1
2. 出願資格	2
3. 出願手続	
(1) 出願期間及び検定料等納入期間	3
(2) 出願方法	3
(3) 出願登録前に準備するもの	3
(4) インターネット出願の流れ	4
(5) 検定料等の支払い方法	5
(6) 出願書類等	6
4. 障がい等のある入学志願者の事前相談について	
(1) 相談の時期	7
(2) 相談の方法	7
(3) 提出先	7
5. 出願状況等の情報提供	
(1) 志願者状況	7
(2) ホームページ	7
6. 受験票等の発送	7
7. 入学者選抜方法	7
8. 入学者選抜の実施教科・科目等について	8
9. 個別学力検査等の場所及び日時	
(1) 検査場	1 2
(2) 前期日程における学力検査等日時	1 2
(3) 後期日程における学力検査等日時	1 2
10. 個別学力検査等の内容等	
(1) 国語	1 3
(2) 外国語	1 3
(3) 数学	1 3
(4) 理科	1 3
(5) 面接	1 4
(6) 小論文	1 5
(7) 実技検査	1 5
11. 1. 可否判定基準	1 7
11. 2. 合格発表	1 7
11. 3. 入学手続等	1 7
11. 4. 追加合格	
(1) 合格通知	1 8
(2) その他	1 8
11. 5. 入試情報の開示請求について	
(1) 開示内容	1 8
(2) 開示手続	1 8
11. 6. その他の注意事項	1 9
11. 7. 新型コロナウイルス感染症対策に伴う対応等	1 9
令和4年度 京都教育大学教育学部入学資格（出願資格）審査申請書	2 1

令和4年度 京都教育大学教育学部 一般選抜 学生募集要項

1. 募集人員

教育学部

学校教育教員養成課程 入学定員300名のうち一般選抜募集人員198名
募集人員の内訳は次のとおりである。

募集区分	前期日程	後期日程
教育学専攻	16	—
幼児教育専攻	7	1
発達障害教育専攻	8	2
国語領域専攻	14	—
社会領域専攻	16	4
英語領域専攻	16	4
数学領域専攻	18	4
理科領域専攻	22	5
技術領域専攻	8	—
家庭領域専攻	11	—
美術領域専攻（美術分野）	8	2
（書道分野）	3	—
音楽領域専攻	7	2
体育領域専攻	15	5
合 計	169	29

2. 出願資格

本学に入学を志願することのできる者は、本学が指定した令和4年度大学入学共通テストの教科・科目（8～11ページの「8. 入学者選抜の実施教科・科目等について」参照）を受験した者で、次のいずれかに該当する者及び令和4年3月31日までに該当見込みの者とする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 学校教育法施行規則第150条(第6号を除く。)の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

ただし、学校教育法施行規則第150条第7号による出願を希望する者は、入学資格（出願資格）審査を受け、出願資格の認定を得なければならない。

(※この部分は「入学者選抜に関する要項」に記載済み)

<入学資格（出願資格）審査の申請手続>

①審査の申請書類（申請者の学習歴により異なる場合がある。）

- ・入学資格（出願資格）審査申請書（本学所定用紙 ※事前に請求すること）
- ・最終学校等の卒業（見込）証明書
- ・最終学校等の成績証明書
- ・最終学校等の教育課程表
- ・最終学校等の校則等
- ・その他本学が必要と認めた書類（審査申請受付後、該当者には別途連絡する。）

②審査の方法

書類審査。ただし、書類審査で判断できない場合は、本人に別途通知の上、審査を行う。

③審査申請期間

令和3年8月31日（火）まで

受付時間は、土、日曜日及び祝日を除く、9時～12時30分、13時30分～17時。

郵送により申請を行う場合は、書留郵便で8月31日（火）までに必着のこと。

ただし、大学入学共通テストを受験した者が、志望大学を変更して、本学に入学資格（出願資格）審査の申請を行う場合は、令和4年1月18日（火）までとする。

④審査申請書類の提出先

本学 入試課入試グループ

⑤審査結果の通知

文書により本人に通知する。

3. 出願手続

(1) 出願期間及び検定料等納入期間

事 項	期 間
インターネット出願登録 及び検定料等の支払期間	令和4年1月24日(月)9時～令和4年2月4日(金)12時
出願書類等の郵送受付期間	令和4年1月24日(月)～令和4年2月4日(金)(必着) ただし、出願期間後に到着した場合でも、2月3日(木)以前の発信 局消印のある書留速達に限り有効とする。

(2) 出願方法

出願完了には下記①、②、③の順番で全ての手続が必要である。なお、各手続には受付期間が定められており、いずれか一つでも出願受付期間中に手続が完了できない場合は出願を受理しないので、十分注意すること。

- ①インターネットによる出願登録
- ②検定料等(支払手数料等含む)の支払い
- ③出願に必要な書類等の郵送(書留速達)での提出

必要書類等の受付は、郵送(書留速達)のみとし、郵送受付期間を過ぎたものは受理しないので郵便事情を十分考慮し、余裕をもって早めに送付すること。

インターネット環境がない等の理由で、「①インターネットによる出願登録」を行えない場合は、京都教育大学入試課まで相談すること。相談時期によっては、出願が間に合わない場合があるので、早めに連絡をすること。

京都教育大学入試課 TEL 075-644-8161

(土・日曜日、祝日を除く、9時から12時30分、13時30分から17時)

(3) 出願登録前に準備するもの

パソコン・スマートフォン等	インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行うこと。自宅にパソコン等がない場合は、学校等のパソコン等から出願すること。
印刷環境 (カラー推奨)	郵送が必要な書類をA4用紙で印刷すること。自宅にプリンタ等がない場合は、学校等のプリンタ等から出力すること。
メールアドレス	出願登録時に必要。メール受信設定でドメインの設定を行っている場合は、「@sak-sak.net」を受信可能なドメインとして設定すること。
写 真	2枚(同一)必要(※美術・音楽・体育領域専攻志願者は3枚)。無帽、上半身、縦4cm×横3cm、3か月以内に撮影したもの。写真の裏面に氏名及び志望専攻名を記入すること。
出願に必要な書類	6ページ参照の上、提出期間内に間に合うようあらかじめ用意すること。
封 筒	必要書類送付のため、市販の角2封筒(24cm×33.2cm)を用意すること。

(4) インターネット出願の流れ

- STEP 1 本学ホームページから「インターネット出願サイト」にアクセス。
本学ホームページトップ → 入試情報 → 学部入試 → インターネット出願
「インターネット出願」バナーをクリック。
- STEP 2 インターネット出願登録
・インターネット出願サイトの「利用案内」、「出願手順」、「Q&A」等を必ず確認すること。
・画面に従って、出願登録を行うこと。
・確認画面で登録内容に間違いがないか、確認すること。
※出願登録完了後の登録内容の変更はできないので、登録した内容を十分に確認すること。
- STEP 3 検定料等の支払い
次のいずれかの方法で支払手続を行うこと。出願確認票（本人控）に記載された支払期限までに支払うこと。検定料等の支払いにかかる手数料は志願者負担。
a. クレジットカード、ネットバンキング
画面に従って、支払手続を行うこと。
b. 指定のコンビニエンスストア及びPay-easy（ペイジー）取扱い金融機関 ATM
①支払方法を選択し、表示される受付番号等(※)をメモするか、画面を印刷すること。
※支払いのための受付番号等は、出願受付番号とは別の番号である。
②メモした受付番号等を使用し、コンビニエンスストア、金融機関で支払手続を行うこと。
- STEP 4 出願確認票等の印刷
6 ページの書類①～③を出願サイトからA 4用紙で印刷(カラー推奨)すること。
- STEP 5 必要書類等の郵送
6 ページの「出願書類等」に基づき、出願書類を「書留速達」により郵送すること。
※郵送用封筒については、市販の角 2 封筒（24 cm×33.2 cm）に、出願サイトから印刷した「宛名ラベル」を貼り付けて使用すること。

【注 意】

インターネット出願において、出願登録及び検定料の支払いを行っただけでは、出願手続完了にはならない。
3 ページの出願期間中に必着するよう「書留速達」により出願書類を郵送する必要がある。「出願書類等の郵送受付期間」を過ぎたものは受理しないので、郵送期間を十分考慮して、手続を行い、出願書類等を送付すること。

(5) 検定料等の支払い方法

- ①検定料等 17,354円（検定料17,000円と受験関係書類送料354円）
検定料等支払い時に、別途検定料等の支払いにかかる手数料（459円）がかかる。

②支払方法

クレジットカード、ネットバンキング、コンビニエンスストア、Pay-easy（ペイジー）の利用が可能。それぞれの詳しい支払方法や手続・注意事項等は「インターネット出願サイト」で出願情報登録後の「お支払方法選択」で確認すること。

支払方法	取扱機関等	備考
クレジットカード	VISA、MasterCard	・検定料等の支払いをインターネット出願と同時に完了することができる。
ネットバンキング	PayPay 銀行、楽天銀行、auじぶん銀行等	
コンビニエンスストア	セブン-イレブン、ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、デイリーヤマザキ、セイコーマート	・各コンビニにより支払方法が異なるので、詳細はインターネット出願サイト内の「コンビニエンスストアでお支払い」を確認すること。 ・支払い後、決済データの反映に数時間かかる。
Pay-easy(ペイジー)	ATMでPay-easy(ペイジー)が利用可能な金融機関	・取扱金融機関のPay-easyロゴが付いているATMで支払うことができる。

※納付された検定料等は、返還しない。

ただし、次に該当する場合は、該当者の申し出により当該検定料を返還する（検定料支払い時の手数料は、返還しない）。

- ・出願書類を提出しなかった場合
- ・出願書類が不備等により受理されなかった場合
- ・出願受付後、大学入学共通テスト受験科目の不足により出願資格が無いことが判明した場合
（返還金額 13,000円）

(6) 出願書類等

インターネット出願登録後、以下のとおり必要な書類を郵送すること。本学の前期日程と後期日程を併願する者は、試験日程別に必要書類等を取り揃え、別々の封筒に封入し、それぞれ個別に郵送すること。

A ①～③はインターネット出願登録完了画面から印刷(片面)して、Bと同一の封筒に入れて提出すること。

出 願 書 類 等	摘 要
① 出願確認票	インターネット出願サイトの出願登録完了画面からA4用紙に印刷すること。 出願確認票の所定欄に、「令和4共通テスト成績請求票」を必ず貼付すること。 「前期日程」に出願する場合は、「 前 国公立前期日程用」を、 「後期日程」に出願する場合は、「 後 国公立後期日程用」を貼付すること。 【注】成績請求票を提出していない場合、又は指定のものと異なる成績請求票を提出した場合は、出願が無効となる場合があるので、注意すること。
② 受験票・写真票	(教育学専攻、幼児教育専攻、発達障害教育専攻、国語領域専攻、社会領域専攻、英語領域専攻、数学領域専攻、理科領域専攻、技術領域専攻及び家庭領域専攻の志願者) 写真は2枚(同一)必要。インターネット出願登録完了画面からA4用紙に印刷し、所定の位置に貼り付けること。 無帽、上半身、縦4cm×横3cm、3か月以内に撮影したもの。 写真の裏面に氏名及び志望専攻名を記入すること。
受験票・写真票・実技検査受験票	(美術領域専攻、音楽領域専攻及び体育領域専攻の志願者) 写真は3枚(同一)必要。インターネット出願登録完了画面からA4用紙に印刷し、所定の位置に貼り付けること。 無帽、上半身、縦4cm×横3cm、3か月以内に撮影したもの。 写真の裏面に氏名及び志望専攻名を記入すること。
③ 宛名ラベル	出願登録完了画面からA4用紙に印刷(カラー推奨)の上、必要書類郵送用封筒(市販の角2封筒)の表面に貼り付けること。

B ④～⑦は志願者が出願前に準備してAと同一の封筒に入れて提出すること。

出 願 書 類 等	摘 要
④ 調 査 書	出身学校長が作成し、厳封したものを提出すること。 高等学校卒業程度認定試験合格者等は、成績証明書等これに代わる受験資格を証明し得る書類を提出すること。 廃校または被災等の事情により調査書が得られない場合は、これに代わる書類(卒業証明書、成績証明書等)を提出すること。
⑤ 教員志望動機書	本学ホームページより、所定の様式をダウンロードし、A4用紙に印刷し、使用すること。 教員志望動機書記入上の注意をよく読んで、本人が 自筆で 、記入すること。
⑥ 運動歴調書	本学ホームページより、所定の様式をダウンロードし、A4用紙に印刷し、使用すること。 出身学校長が作成したものを提出すること。 (後期日程体育領域専攻の志願者のみ提出)
⑦ ピアノ伴奏者用楽譜(コピー)	裏面に、氏名を記入すること。 (音楽領域専攻の「声楽」選択者のみ提出)

(注) 出願に際しての注意事項

1. 出願書類等に不備がある場合は、受理しないことがあるので十分注意すること。
2. 提出後は、出願書類等の変更及び記入内容の変更は認めない。また、検定料及び出願書類等は返還しない。

4. 障がい等のある入学志願者の事前相談について

障がい等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、以下のとおり相談すること。

(1) 相談の時期

令和3年12月16日(木)までに、本学入試課入試グループへ申し出ること。

なお、期限以降であっても、その状況によっては考慮できる場合があるので申し出ること。

(2) 相談の方法

学長あてに次の事項を記載した書類(様式任意)に医師の診断書を添付し、提出すること。

大学入学共通テストの受験にあたり、受験上の配慮の申請をしている場合は、「受験上の配慮事項決定通知書」の写し及び医師の診断書の写しを提出すること。

この場合、前述の医師の診断書の提出を要しない。

なお、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁することができる出身学校関係者等との面談等を行う。

- ①志望する募集区分名
- ②障がいの種類・程度
- ③受験上の配慮を希望する事項
- ④修学上の配慮を希望する事項
- ⑤日常生活の状況

(3) 提出先

〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地

京都教育大学 入試課入試グループ

TEL 075-644-8161

(土・日曜日、祝日及び年末年始を除く、9時～12時30分、13時30分～17時)

FAX 075-642-5466

5. 出願状況等の情報提供

入学志願者状況等について、本学ホームページへ掲載する。

なお、本学への直接の問い合わせには応じない。

(1) 志願者状況

期間 令和4年1月27日(木)～3月27日(日)

(2) ホームページ

本学ホームページトップ → 入試情報 → 学部入試

6. 受験票等の発送

受験票等は令和4年2月中旬に発送する。

7. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、令和4年度大学入学共通テストの成績並びに本学が行う令和4年度個別学力検査等の成績及び調査書等の内容を総合して判定する。

8. 入学者選抜の実施教科・科目等について

<全募集区分に共通の注意事項>

大学入学共通テストについては、下記のとおりとする。

(1) 複数の教科・科目から選択となっている場合で、複数の教科・科目を受験している場合に合否判定に利用する科目の成績は、次のとおりとする。

- ① 「地理歴史・公民」から1科目選択となっている場合は、「第1解答科目」の成績を利用する。
- ② 「理科」から1科目選択となっている場合は、「第1解答科目」の成績を利用する。
ただし、「理科」の「基礎を付した科目」を受験している場合は、「基礎を付した科目」及び「基礎を付さない科目」のいずれか高得点の科目の成績を利用する。
- ③ 「地理歴史・公民」、「理科」から1科目選択となっている場合は、いずれか高得点の「第1解答科目」の成績を利用する。
ただし、「理科」の「基礎を付した科目」を受験している場合は、「地理歴史・公民」の「第1解答科目」及び「理科」のいずれか高得点の科目の成績を利用する。
- ④ 「地理歴史・公民」、「理科」から3科目選択となっている場合は、それぞれの「第1解答科目」及びいずれか高得点の「第2解答科目」の成績を利用する。
ただし、「理科」の「基礎を付した科目」を受験している場合は、「地理歴史・公民」の「第1解答科目」の成績と「地理歴史・公民」の「第2解答科目」及び「理科」のうち高得点の2科目の成績を利用する。

(2) 「英語」リーディング(大学入学共通テストにおける配点100点)は160点満点に、「英語」リスニング(大学入学共通テストにおける配点100点)は40点満点に換算し、合計200点満点として利用する。

なお、「英語」リスニングを免除された者については、「英語」リーディングを200点満点に換算し、利用する。

また、免除を認められた者以外でリスニングテストを受験しなかった者は、英語を受験しなかったものとして取り扱う。

学部・ 入学定員 募集区分・ 募集人員	学力 検査 等の 区分・ 日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点										
		教科	科目名等	教科 等	科目名等	試験の 区分	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点 合計	
教育学部 300人 前期 169 後期 29 その他 102	教育学 専攻 前期 16	前期 2月 25日 国 地歴・ 公民 教 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から2 数Ⅰ,数Ⅰ・数Aから1と 数Ⅱ,数Ⅱ・数B,簿,情報から1 物,化,生,地学から1(※1) 英語 [6教科(又は5教科)7科目]	国 その他	国語総合 小論文	共通 テスト	200	200	200	100	200					900
						個別 学力 検査	300					100				400
						計	500	200	200	100	200	100				1300
	幼児教育 専攻 前期 7 後期 1	前期 2月 25日 国 地歴・ 公民 教 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から2 数Ⅰ,数Ⅰ・数Aから1と 数Ⅱ,数Ⅱ・数B,簿,情報から1 物,化,生,地学から1(※1) 英語 [6教科(又は5教科)7科目]	国 その他	国語総合 面接	共通 テスト	200	200	200	100	200					900
						個別 学力 検査	200							200	400	
						計	400	200	200	100	200			200	1300	
		後期 3月 12日 国 地歴・ 公民 教 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から1 数Ⅰ,数Ⅰ・数Aから1または 数Ⅱ,数Ⅱ・数B,簿,情報から1(※2) 物,化,生,地学から1(※1) 英語 [5教科5科目]	その他	面接	共通 テスト	100	50	50	50	100					350
						個別 学力 検査							300	300		
						計	100	50	50	50	100			300	650	
	発達障害 教育専攻 前期 8 後期 2	前期 2月 25日 国 地歴・ 公民 教 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から2 数Ⅰ,数Ⅰ・数Aから1と 数Ⅱ,数Ⅱ・数B,簿,情報から1 物,化,生,地学から1(※1) 英語 [6教科(又は5教科)7科目]	国 その他	国語総合 面接	共通 テスト	200	200	200	100	200				900	
						個別 学力 検査	200						200	400		
		後期 3月 12日 国 地歴・ 公民 教 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から2 数Ⅰ,数Ⅰ・数Aから1と 数Ⅱ,数Ⅱ・数B,簿,情報から1 物,化,生,地学から1(※1) 英語 [6教科(又は5教科)7科目]	その他	面接	共通 テスト	200	200	200	100	200				900	
個別 学力 検査												400	400			
計	200	200	200	100	200			400	1300							

(※1) 物理、化学、生物、地学の1の代わりに、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2を充てることも可。

この場合「基礎を付した科目」2科目を「基礎を付さない科目」1科目として取り扱う。

(※2) 幼児教育専攻一般選抜(後期日程)の数学は、いずれか高得点の科目の成績を利用する。

学部・募集区分・募集人員	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点											
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点合計		
教育学部	国語領域専攻 前期 14	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から2 数Ⅰ,数Ⅰ・数Aから1と 数Ⅱ,数Ⅱ・数B,簿,情報から1 物,化,生,地学から1(※) 英語 [6教科(又は5教科)7科目]	国 その 他	国語総合 面接	共通 テスト	200	200	200	100	200					900
							個別 学力 検査	300							100	400	
							計	500	200	200	100	200			100	1300	
	社会領域専攻 前期 16	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から2 数Ⅰ,数Ⅰ・数Aから1と 数Ⅱ,数Ⅱ・数B,簿,情報から1 物,化,生,地学から1(※) 英語 [6教科(又は5教科)7科目]	国 その 他	国語総合 面接	共通 テスト	200	200	200	100	200					900
							個別 学力 検査	200							200	400	
							計	400	200	200	100	200			200	1300	
	後期 4	後期 3月 12日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から2 数Ⅰ,数Ⅰ・数Aから1と 数Ⅱ,数Ⅱ・数B,簿,情報から1 物,化,生,地学から1(※) 英語 [6教科(又は5教科)7科目]	その 他	小論文 面接	共通 テスト	200	200	200	100	200					900
							個別 学力 検査						300		300	600	
							計	200	200	200	100	200	300		300	1500	
	英語領域専攻 前期 16	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から2 数Ⅰ,数Ⅰ・数Aから1と 数Ⅱ,数Ⅱ・数B,簿,情報から1 物,化,生,地学から1(※) 英語 [6教科(又は5教科)7科目]	外	英語(コミュニケーション 英語Ⅰ・コミュニケーション 英語Ⅱ・コミュニケーション 英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語 表現Ⅱ)	共通 テスト	200	200	200	100	200					900
							個別 学力 検査						400			400	
							計	200	200	200	100	600				1300	
後期 4	後期 3月 12日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から2 数Ⅰ,数Ⅰ・数Aから1と 数Ⅱ,数Ⅱ・数B,簿,情報から1 物,化,生,地学から1(※) 英語 [6教科(又は5教科)7科目]	その 他	小論文 面接	共通 テスト	200	200	200	100	200					900	
						個別 学力 検査						300		300	600		
						計	200	200	200	100	200	300		300	1500		

(※)物理、化学、生物、地学の1の代わりに、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2を充てることも可。
この場合「基礎を付した科目」2科目を「基礎を付さない科目」1科目として取り扱う。

学部・募集区分・募集人員	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点											
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点合計		
教育学部	数学領域専攻 前期 18	国 地歴・公民 数 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から1 数Ⅰ,数Ⅰ・数Aから1と 数Ⅱ,数Ⅱ・数B,簿,情報から1 物,化,生,地学から2(※) 英語 [5教科7科目]	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数Ⅲ 物基・物,化基・化, 生基・生,地基・地学から1 (数B:数列,ベクトル)	共通 テスト	200	100	200	200	200					900	
						個別 学力 検査			300	100							400
						計	200	100	500	300	200						1300
	後期 4	国 地歴・公民 数 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から1 数Ⅰ,数Ⅰ・数Aから1と 数Ⅱ,数Ⅱ・数B,簿,情報から1 物,化,生,地学から2(※) 英語 [5教科7科目]	そ 他	小論文 面接	共通 テスト	200	100	200	200	200					900	
						個別 学力 検査						200		100		300	
						計	200	100	200	200	200	200		100		1200	
理科領域専攻 前期 22	前期 22	国 地歴・公民 数 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から1 数Ⅰ,数Ⅰ・数Aから1と 数Ⅱ,数Ⅱ・数B,簿,情報から1 物,化,生,地学から2(※) 英語 [5教科7科目]	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数Ⅲ(*) 物基・物,化基・化, 生基・生,地基・地学から1 (数B:数列,ベクトル) (*)数Ⅲ:選択問題の設定等に より,数Ⅲを履修していない 受験生に配慮した出題を行う。	共通 テスト	200	100	200	200	200				900		
						個別 学力 検査				100	300					400	
						計	200	100	300	500	200					1300	
	後期 5	国 地歴・公民 数 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から1 数Ⅰ,数Ⅰ・数Aから1と 数Ⅱ,数Ⅱ・数B,簿,情報から1 物,化,生,地学から2(※) 英語 [5教科7科目]	そ 他	小論文 面接	共通 テスト	200	100	200	200	200					900	
						個別 学力 検査						100		200		300	
						計	200	100	200	200	200	100		200		1200	
技術領域専攻 前期 8	前期 8	国 地歴・公民 数 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経 物,化,生,地学(※) } から 数Ⅰ,数Ⅰ・数Aから1と } 3 数Ⅱ,数Ⅱ・数B,簿,情報から1 英語 [6教科(又は5教科)7科目]	国 数 理 そ 他	国語総合 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数Ⅲ(*) } から 物基・物,化基・化, } 1 生基・生,地基・地学から1 } 教科 面接 (数B:数列,ベクトル) (*)数Ⅲ:選択問題の設定等に より,数Ⅲを履修していない 受験生に配慮した出題を行う。	共通 テスト	200	100+ ★100	200	100+ ★100	200				900		
						個別 学力 検査	★300		★300	★300					100	400	
						計	200 + ★300	100+ ★100	200 + ★300	100+ ★100 + ★300	200			100		1300	
	家庭領域専攻 前期 11	前期 11	国 地歴・公民 数 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経 物,化,生,地学(※) } から 数Ⅰ,数Ⅰ・数Aから1と } 3 数Ⅱ,数Ⅱ・数B,簿,情報から1 英語 [6教科(又は5教科)7科目]	国 そ 他	国語総合 面接	共通 テスト	200	100+ ★100	200	100+ ★100	200				900	
							個別 学力 検査	200							200	400	
							計	400	100+ ★100	200	100+ ★100	200			200		1300

(※)物理、化学、生物、地学の1の代わりに、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2を充てることも可。
この場合「基礎を付した科目」2科目を「基礎を付さない科目」1科目として取り扱う。
なお、同一名称を含む科目の選択を認める。(例：(物理基礎、生物基礎) + (物理)を可とする。)

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点】欄
★印は、選択教科(1教科)の配点を示す。

学部・募集区分・募集人員	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点										
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点合計	
教育学部	美術領域専攻(美術分野)前期 8	前期 2月26日 国 地歴・公民 数 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から1 数Ⅰ,数Ⅰ・数Aから1または 数Ⅱ,数Ⅱ・数B,簿,情報から1(※3) 物,化,生,地学から1(※1) 英語 [5教科5科目]	その他	実技検査(プレゼンテーションを含む)	共通テスト	200	100	100	100	200				700	
						個別学力検査						400		400		
						計	200	100	100	100	200		400		1100	
	後期 2	後期 3月12日 国 地歴・公民 数 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経 数Ⅰ,数Ⅰ・数A } から 数Ⅱ,数Ⅱ・数B,簿,情報 } 2 物,化,生,地学(※2) } (※4) 英語 [4教科4科目]	その他	実技検査(プレゼンテーションを含む)	共通テスト	200	☆200			200				600	
						個別学力検査						400		400		
						計	200	☆200			200		400		1000	
	美術領域専攻(書道分野)前期 3	前期 2月26日 国 地歴・公民 数 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から1 数Ⅰ,数Ⅰ・数Aから1または 数Ⅱ,数Ⅱ・数B,簿,情報から1(※3) 物,化,生,地学から1(※1) 英語 [5教科5科目]	その他	実技検査 面接	共通テスト	200	100	100	100	200				700	
						個別学力検査						400	100	500		
						計	200	100	100	100	200		400	100	1200	
	音楽領域専攻	前期 7	前期 2月26日 国 地歴・公民 数 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から1 数Ⅰ,数Ⅰ・数Aから1と 数Ⅱ,数Ⅱ・数B,簿,情報から1 物,化,生,地学から1(※1) 英語 [5教科6科目]	その他	実技検査 面接	共通テスト	200	100	200	100	200				800
							個別学力検査						300	100	400	
							計	200	100	200	100	200		300	100	1200
後期 2		後期 3月12日 国 地歴・公民 数 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から1 数Ⅰ,数Ⅰ・数A } から 数Ⅱ,数Ⅱ・数B,簿,情報 } 1 物,化,生,地学(※1) } (※5) 英語 [4教科4科目]	その他	実技検査 面接	共通テスト	200	100	★100	★100	200				600	
						個別学力検査						350	250	600		
						計	200	100	★100	★100	200		350	250	1200	
体育領域専攻	前期 15	前期 2月26日 国 地歴・公民 数 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から1 数Ⅰ,数Ⅰ・数Aから1と 数Ⅱ,数Ⅱ・数B,簿,情報から1 物,化,生,地学から1(※1) 英語 [5教科6科目]	その他	実技検査 小論文	共通テスト	200	100	200	100	200				800	
						個別学力検査						100	400	500		
	後期 5	後期 3月12日 国 地歴・公民 数 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経 } から 物,化,生,地学(※1) } 1 数Ⅰ,数Ⅰ・数Aから1と } 数Ⅱ,数Ⅱ・数B,簿,情報から1 } 英語 [4教科5科目]	その他	実技検査 小論文	共通テスト	200	★200	200	★200	200				800	
						個別学力検査						100	400	500		
計	200	★200	200	★200	200	100	400		1300							

- (※1) 物理、化学、生物、地学の1の代わりに、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2を充てることも可。
この場合「基礎を付した科目」2科目を「基礎を付さない科目」1科目として取り扱う。
- (※2) 物理、化学、生物、地学の1の代わりに、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2を充てることも可。
この場合「基礎を付した科目」2科目を「基礎を付さない科目」1科目として取り扱う。
なお、同一名称を含む科目の選択を認める。(例:(物理基礎、生物基礎)+(物理)を可とする。)
- (※3) 美術領域専攻一般選抜(前期日程)の数学は、いずれか高得点の科目の成績を利用する。
- (※4) 「地理歴史・公民」、「数学」、「理科」からの2科目利用については、以下の利用方法のみとする。また、3科目以上受験した場合は、以下の利用方法から、高得点の成績を利用する。
- ①「地理歴史・公民」から1、「理科」から1
 - ②「地理歴史・公民」から1、「数学」から1(数学は、いずれか高得点の科目の成績を利用)
 - ③「理科」から1、「数学」から1(数学は、いずれか高得点の科目の成績を利用)
- (※5) 「数学(数Ⅰ,数Ⅰ・数A)」、「数学(数Ⅱ,数Ⅱ・数B,簿,情報)」及び「理科」の「第1解答科目」のいずれか高得点の科目の成績を利用する。ただし、「理科」の「基礎を付した科目」を受験している場合は、「数学(数Ⅰ,数Ⅰ・数A)」、「数学(数Ⅱ,数Ⅱ・数B,簿,情報)」、「理科」の「基礎を付した科目」及び「理科」の「基礎を付さない科目」のいずれか高得点の科目の成績を利用する。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点】欄
★印は、選択教科(1教科)の配点を示す。
☆印は、選択教科(2教科)の配点を示す。

9. 個別学力検査等の場所及び日時

(1) 検査場

京都教育大学 京都市伏見区深草藤森町1番地

(2) 前期日程における学力検査等日時

月 日	募集区分	時 間	教科・科目等
2月25日(金)	教育学専攻	9:30~11:30	国語
		12:30~14:00	小論文
	幼児教育専攻 発達障害教育専攻 国語領域専攻 社会領域専攻 家庭領域専攻	9:30~11:30	国語
		12:30~17:00	面接
	英語領域専攻	9:30~11:00	外国語
	数学領域専攻 理科領域専攻	9:30~11:30	数学
		12:30~14:10	理科
	技術領域専攻	9:30~11:30	国語
		9:30~11:30	数学
		12:30~14:10	理科
12:30~17:00		面接	
2月26日(土)	美術領域専攻 (美術分野)	9:00~12:00	実技検査
		13:00~17:00	プレゼンテーション
	美術領域専攻 (書道分野)	9:00~12:00	実技検査
		13:00~17:00	面接
	音楽領域専攻	9:00~17:00 (昼食休憩時間を含む。)	実技検査、面接
	体育領域専攻	9:00~10:00	小論文
		10:30~17:00 (昼食休憩時間を含む。)	実技検査

- (注) 1. 面接および実技検査の終了時刻は、受験者数により変更することがある。
2. 集合時間等受験に際しての注意事項については受験票に同封して郵送する。

(3) 後期日程における学力検査等日時

月 日	募集区分	時 間	教科・科目等
3月12日(土)	幼児教育専攻 発達障害教育専攻	9:30~13:00	面接
		9:30~11:00	小論文
	社会領域専攻 英語領域専攻 理科領域専攻	12:00~17:00	面接
		9:30~11:30	小論文
	数学領域専攻	12:30~17:00	面接
		9:00~12:00	実技検査
	美術領域専攻 (美術分野)	13:00~17:00	プレゼンテーション
		9:00~17:00 (昼食休憩時間を含む。)	実技検査、面接
	音楽領域専攻	9:00~10:00	小論文
		10:30~17:00 (昼食休憩時間を含む。)	実技検査

- (注) 1. 面接および実技検査の終了時刻は、受験者数により変更することがある。
2. 集合時間等受験に際しての注意事項については受験票に同封して郵送する。

10. 個別学力検査等の内容等

(1) 国語

募集区分	試験日程	検査内容及びその評価基準
教育学専攻	前期日程	国語総合 現代文については、的確な読解力、思考力及び記述による表現力を評価する。 古文・漢文については、文法・解釈等の基礎的知識、思考力及び記述による表現力を評価する。
幼児教育専攻		
発達障害教育専攻		
国語領域専攻		
社会領域専攻		
技術領域専攻		
家庭領域専攻		

(2) 外国語

募集区分	試験日程	検査内容及びその評価基準
英語領域専攻	前期日程	英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ） 英文の内容を正確に把握する力、英語で適切に表現する力、基本的な英語の文法力を総合的に評価する。

(3) 数学

募集区分	試験日程	検査内容及びその評価基準
数学領域専攻	前期日程	数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B（数列、ベクトル）、数Ⅲ 問題を正確に読みとる能力、思考力、論証力、推論の進め方、記述力等を総合的に評価する。 （理科領域専攻及び技術領域専攻は、選択問題の設定等により、数Ⅲを履修していない受験生に配慮した出題を行う。）
理科領域専攻		
技術領域専攻		

(4) 理科

募集区分	試験日程	検査内容及びその評価基準
数学領域専攻	前期日程	物基・物、化基・化、生基・生、地基・地学のうち、いずれか1つを試験当日に選択解答させる。理解力、考察力、論理的思考力、文章表現力、計算能力を総合的に評価する。
理科領域専攻		
技術領域専攻		

(5) 面接

募集区分	試験日程	検査内容及びその評価基準
幼児教育専攻	前期日程	志望動機、幼児教育に対する関心、これまでの学校教育等で学んだ内容等について問い、教員になろうとする意欲、資質、思考力、表現力を総合的に評価する。面接形態は、原則として集団面接 ^(注) （集団討論を含む。）とする。
発達障害教育専攻		志望動機、これまでの学校生活・学習、障害児教育に対する関心等について問い、教員になろうとする意欲、資質、思考力、表現力を総合的に評価する。面接形態は、原則として集団面接 ^(注) とする。
国語領域専攻		志望動機、学校教育及び国語科に対する関心、知識、理解力を問い、教員になろうとする意欲・資質、思考力、表現力を総合的に評価する。面接形態は、原則として集団面接 ^(注) とする。
社会領域専攻		志望動機、学校教育及び社会科（地歴科、公民科を含む。）に対する関心、知識、理解力を問い、教員になろうとする意欲・資質、思考力、表現力を総合的に評価する。面接形態は、原則として集団面接 ^(注) とする。
技術領域専攻		志望動機、もの作りや情報の活用などに対する関心、これまでに学んだ内容等について問い、教員になろうとする意欲、資質、思考力、表現力等を総合的に評価する。面接形態は、原則として個人面接 ^(注) とする。
家庭領域専攻		志望動機、学校教育及び家庭科に対する関心、知識、理解力を問い、教職に対する情熱・資質、思考力、主体性と協調性を総合的に評価する。面接形態は、原則として集団面接 ^(注) （集団討論を含む。）とする。
美術領域専攻 （書道分野）		志望動機、書道（書写）に対する関心、小学校・中学校・高等学校等で学んだ内容等について問い、教員になろうとする意欲、資質、思考力、表現力等を総合的に評価する。面接形態は、原則として集団面接 ^(注) とする。
音楽領域専攻		志望動機、音楽に対する関心、小学校・中学校・高等学校等で学んだ内容等について問い、教員になろうとする意欲、資質、思考力、表現力等を総合的に評価する。面接形態は、原則として個人面接 ^(注) とする。
幼児教育専攻	後期日程	志望動機、幼児教育に対する関心、これまでの学校教育等で学んだ内容等について問い、教員になろうとする意欲、資質、思考力、表現力を総合的に評価する。面接形態は、原則として集団面接 ^(注) （集団討論を含む。）とする。
発達障害教育専攻		志望動機、これまでの学校生活・学習、障害児教育に対する関心等について問い、教員になろうとする意欲、資質、思考力、表現力を総合的に評価する。面接形態は、原則として集団面接 ^(注) とする。
社会領域専攻		志望動機、学校教育及び社会科（地歴科、公民科を含む。）に対する関心、知識、理解力を問い、教員になろうとする意欲・資質、思考力、表現力を総合的に評価する。面接形態は、原則として集団面接 ^(注) とする。
英語領域専攻		志望動機、学校教育及び英語科に対する関心、知識、理解力を問い、教員になろうとする意欲・資質、思考力、表現力を総合的に評価する。面接形態は、原則として集団面接 ^(注) とする。
数学領域専攻		志望動機、数学（算数）に対する関心、小学校・中学校・高等学校等で学んだ内容等について問い、教員になろうとする意欲、資質、学力、思考力、説明能力、表現力を総合的に評価する。面接形態は、原則として個人面接 ^(注) とする。
理科領域専攻		志望動機、理科及び学校教育に対する関心、知識、理解力を問い、教員になろうとする意欲、思考力、表現力を総合的に評価する。面接形態は、原則として個人面接 ^(注) とする。
音楽領域専攻		志望動機、音楽に対する関心、小学校・中学校・高等学校等で学んだ内容等について問い、教員になろうとする意欲、資質、思考力、表現力等を総合的に評価する。面接形態は、原則として個人面接 ^(注) とする。

(注)前期日程では、志願者数により、個人面接を集団面接に、集団面接を個人面接に変更することがある。
後期日程では、受験者数により、個人面接を集団面接に、集団面接を個人面接に変更することがある。

(6) 小論文

募集区分	試験日程	検査内容及びその評価基準
教育学専攻	前期日程	子どもの教育や発達に関する文献や資料を提示し、その内容について論述させ、理解力、表現力、関心・意欲等を総合的に評価する。
体育領域専攻		保健体育に関する資料または課題を提示し、その内容について論述させ、基礎的教養、理解力、思考力、表現力等を総合的に評価する。
社会領域専攻	後期日程	人文科学、社会科学や、現代の教育に関する課題または資料を提示し、その内容について論述させ、基礎的教養、思考力、表現力等を総合的に評価する。
英語領域専攻		言語、文化、現代社会などに関する英語で書かれた文献を提示し、その内容について日本語で論述させ、基礎的教養、思考力、表現力等を総合的に評価する。
数学領域専攻		数学、教育に関連する資料や文章を提示し、それに関連した論述をさせ、論証力、説明能力、思考力、表現力、基礎的教養等を総合的に評価する。なお、読解力、説明能力、とくに数学に関する事柄に対する説明能力などを問う設問を含む。
理科領域専攻		自然科学や、理科の教育に関する課題または資料を提示し、それに関して論述させ、論理的思考力、創造力、考察力、分析力、表現力等について総合的に評価する。あわせて、教育に対する意欲や関心についても評価する。
体育領域専攻		保健体育の体育理論及び保健に関する内容について論述させ、基礎的知識、思考力、表現力等を総合的に評価する。

(7) 実技検査

募集区分	試験日程	検査種目・内容及びその評価基準	制作時間	携行品
美術領域専攻 (美術分野)	前期日程	①鉛筆デッサン 提示されたモチーフ、条件などをもとに鉛筆デッサンを行う。 形態や空間を捉える力、画面を構成する力、イメージを可視化する力など、基本的な造形力を総合的に評価する。 (用紙：四つ切り画用紙)	180分	鉛筆、消しゴム、定規、ものさし、コンパス ※カルトンは持込み不可
		②プレゼンテーション (質疑応答を含め約10分) 解答した作品の制作意図について、3分程度のプレゼンテーションを行う。 言葉で表現する力やコミュニケーション能力などを総合的に評価する。		
	① ② の両種目を受験すること。			
	後期日程	①イメージデッサン (鉛筆) 設定されたテーマやモチーフをもとに、鉛筆によるイメージデッサンを行う。 イメージを可視化する力、画面を構成する力、形態や空間を捉える力など、基本的な造形力を総合的に評価する。 (用紙：四つ切り画用紙)	180分	
②プレゼンテーション (質疑応答を含め約10分) 解答した作品の制作意図について、3分程度のプレゼンテーションを行う。 言葉で表現する力やコミュニケーション能力などを総合的に評価する。				
① ② の両種目を受験すること。				

募集区分	試験日程	検査種目・内容及びその評価基準	制作時間	携行品
美術領域専攻 (書道分野)	前期日程	漢字かな交じり文 漢字 かな 知識理解力、技術力、鑑賞力の3つの観点から評価する。	180分	すずり、墨、大小毛筆、文鎮

募集 区分	試験 日程	検 査 種 目 ・ 内 容 及 び そ の 評 価 基 準		
音 楽 領 域 専 攻	前期 日程	共通 種目	①楽 典 楽典（和声・楽式を除く。）の試験を行う。 記譜法に関する諸約束の理解を問う。 （試験時間は50分）	
			②視 唱 コールユーブンゲン第1巻 No. 85(原書番号)までの中から当日指定する。 正確な音程・リズムで歌唱する能力を評価する。	
			③ピアノ ソナチネの任意の楽章、又は同程度の自由曲1曲を演奏する。 演奏の基礎的能力（読譜力・和声感・リズム感）及び音楽性を見る。	
	選択 種目	A. 声 楽 イタリア古典歌曲より任意の1曲を選択して歌う。 発声の基本と歌唱表現力を評価する。 ※出願時にピアノ伴奏者用楽譜(コピー)も提出すること(裏面に氏名を記入すること。)		
		B. 器 楽 (ア) ピアノ 古典派のソナタから任意の1曲を選び、その第1楽章又は終楽章を演奏する。 ただし、緩徐楽章ではないこととする。 演奏の基礎的能力（読譜力・和声感・リズム感）及び音楽性を見る。 (イ) ピアノ以外の楽器 選択した楽器により、任意の1曲又は1つの楽章を演奏する。 演奏の基礎的能力（読譜力・リズム感）及び音楽性を見る。 楽器は、各自持参を原則とする。		
		C. 小論文 音楽に関する長文の問題を読み、筆者の見解を要約しながら自分の考えを述べる。 音楽に対する考え方及び文章の論理的構成力を評価する。 （試験時間は90分）		
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 共通種目は、①②③のすべてを受験すること。ただし、選択種目において「B. 器楽（ア）ピアノ」を選択した者には共通種目「③ピアノ」は課さない。 ・ 選択種目は、A、B（ア）、B（イ）、Cから1つを出願時に選択登録し、受験すること。 （Aを選択した者は、選択する曲名と希望する調を登録すること。B（イ）を選択した者は、楽器名も登録すること。） ・ 演奏はすべて暗譜とし、繰り返しは省略のこと。 	
	後期 日程	共通 種目	①楽 典 楽典（和声・楽式を除く。）の試験を行う。 記譜法に関する諸約束の理解を問う。 （試験時間は50分）	
			②ピアノ ソナチネの任意の楽章、又は同程度の自由曲1曲を演奏する。 演奏の基礎的能力（読譜力・和声感・リズム感）及び音楽性を見る。	
		選択 種目	A. 声 楽 イタリア古典歌曲より任意の1曲を選択して歌う。 発声の基本と歌唱表現力を評価する。 ※出願時にピアノ伴奏者用楽譜(コピー)も提出すること(裏面に氏名を記入すること。)	
B. 器 楽 (ア) ピアノ 古典派のソナタから任意の1曲を選び、その第1楽章又は終楽章を演奏する。 ただし、緩徐楽章ではないこととする。 演奏の基礎的能力（読譜力・和声感・リズム感）及び音楽性を見る。 (イ) ピアノ以外の楽器 選択した楽器により、任意の1曲又は1つの楽章を演奏する。 演奏の基礎的能力（読譜力・リズム感）及び音楽性を見る。 楽器は、各自持参を原則とする。				
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 共通種目は、①②のすべてを受験すること。ただし、選択種目において「B. 器楽（ア）ピアノ」を選択した者には共通種目「②ピアノ」は課さない。 ・ 選択種目は、A、B（ア）、B（イ）、Cから1つを出願時に選択登録し、受験すること。 （Aを選択した者は、選択する曲名と希望する調を登録すること。B（イ）を選択した者は、楽器名も登録すること。） ・ 演奏はすべて暗譜とし、繰り返しは省略のこと。 		
		C. 小論文 音楽に関する長文の問題を読み、筆者の見解を要約しながら自分の考えを述べる。 音楽に対する考え方及び文章の論理的構成力を評価する。 （試験時間は90分）		

募集区分	試験日程	検査内容及びその評価基準	留意事項
体育領域専攻	前期日程	以下の3種目の実技検査を実施し、合計得点により評価する。 (1)器械運動(マット運動)、 (2)陸上運動(ハードル走)、 (3)ボール運動	各種運動に適した服装とグラウンド及び体育館で運動ができるシューズを準備すること。(スパイクシューズは使用不可)
	後期日程	以下の2群からそれぞれ1種目を出願時に選択登録させ、実技検査を実施し、合計得点により評価する。 I群：(1)器械運動(マット運動)、(2)器械運動(鉄棒) II群：(1)陸上競技(ハードル走)、(2)陸上競技(長距離走)、 (3)バスケットボール、(4)バレーボール、 (5)サッカー	各種運動に適した服装とグラウンド及び体育館で運動ができるシューズを準備すること。(スパイクシューズは使用不可)

1 1. 合否判定基準

(1) 合否判定等について

- ・学力検査において、出願者のうち、必要とする教科・科目等のすべてを受験した者以外は欠席者として取り扱う。
- ・点数換算により、1点未満の端数が生じた場合、それを切り捨てるものとする。
- ・合否判定は、募集区分ごとにおける総得点の順位によることを原則とする。
- ・総得点の同点者はすべて同順位とし、合格最終順位に同点者が複数いる場合は、その全員を合格者とする。

(2) 学力検査において、教科の選択を課す募集区分にあつては、教科間の得点調整を行わない。

(3) 入学定員に欠員が生じた場合は、追加合格により欠員補充を行うことがある。この場合、前期日程、後期日程の不合格者のみを対象とする。

1 2. 合格発表

【前期日程】 令和4年3月 8日(火) 10時

【後期日程】 令和4年3月23日(水) 10時

合格者の受験番号を本学のホームページにも掲載するとともに、合格者には合格通知書を発送する。

本学ホームページトップ → 入試情報 → 合格発表

電話等による照会には一切応じない。

1 3. 入学手続等

入学手続は、次のとおり行うこと。

また、入学手続時に大学入学共通テストの受験票が必要となるので、大切に保管しておくこと。

なお、詳細については、合格者に別途通知する(出願時以降に転居等により合格通知書等の送付先の変更が必要な場合は、郵便局に届け出ておくとともに、本学入試課入試グループにその旨連絡すること)。

(1) 入学手続日及び方法

【前期日程】 令和4年3月14日(月) 必着(郵送)

やむを得ない理由により郵送による入学手続ができない場合は、3月11日(金)17時までに、本学入試課入試グループまで申し出ること、3月15日(火)9時～12時に来学して入学手続を行うことができる。

【後期日程】 令和4年3月25日(金) 13時30分～16時(持参)

やむを得ない理由により上記入学手続日に来学できない場合は、3月24日(木)17時までに本学入試課入試グループまで申し出ること、3月25日(金)までに郵送(必着)又は3月26日(土)9時～12時に来学して入学手続を行うことができる。

(2) 入学手続書類送付先・提出先

郵送の場合：(送付先) 〒612-8522

京都市伏見区深草藤森町1番地
京都教育大学 入試課入試グループ

持参の場合：(手続場所) 京都教育大学構内

(3) 入学料・授業料等

ア. 入学料 282,000円

イ. 授業料(年額) 535,800円

[注] ①入学手続後、納付した入学料は、いかなる理由があっても返還しない。

②上記の入学料及び授業料は、令和3年度入学者の金額であり、令和4年度入学者については、変更する場合がある。

③在学中に授業料の改定を行った場合は、改定時から新授業料が適用される。

ウ. その他

学生教育研究災害傷害保険料等 約60,000円

(4) 合格者が、入学手続日に手続を終了しない場合は、入学を辞退したものと取り扱う。

14. 追加合格

入学手続終了後募集人員に欠員が生じた場合には、令和4年3月28日(月)以降に追加合格により欠員補充を行うことがある。

(追加合格者への連絡は、電話により行うので連絡がとれるようにしておくこと。)

(1) 合格通知

令和4年3月28日(月)以降に、本人あてに郵便等により通知する。

(2) その他

入学手続日、入学手続場所、入学手続に必要なもの等は、合格通知時に連絡する。

15. 入試情報の開示請求について

(1) 開示内容

個人成績

①本学個別学力検査等の教科・科目別得点

②本学個別学力検査等と大学入学共通テストの本学利用分との合計得点

(2) 開示手続

①開示の対象

受験者本人に限る(代理人は不可)。

②開示期間等

令和4年5月2日(月)～令和4年5月31日(火)

(土・日曜日及び祝日を除く、9時～12時30分、13時30分～17時)

③申請方法

入試課入試グループ窓口において、所定の「成績開示申請書」に必要事項を記入し、**受験票を添えて**提出すること。

④開示方法

入試課入試グループ窓口で「成績開示表」を交付する。

⑤前期日程の大学・学部合格し、入学手続を完了した者は、後期日程を受験しても同日程の成績開示はできない。

16. その他の注意事項

- (1) 一般選抜の併願については、「前期－前期」及び「後期－後期」の組み合わせでの併願はできない。
本学の前期日程に出願する者が、本学の後期日程に出願してもよい。
- (2) 前期日程の大学・学部^①に合格し、令和4年3月15日までに入学^②手続を完了した者は、「後期日程」の大学・学部を受験しても合格者とはならない。
- (3) 本学が令和4年度入学者選抜において利用する大学入学共通テストの成績は、令和4年度のものであり、過年度の大学入学共通テスト又は大学入試センター試験の成績は利用できない。
- (4) 令和4年度大学入学共通テストで、本学が指定する教科・科目のうち、1科目でも受験しなかった者は、本学の個別学力検査を受験できない。（大学入試センターにリスニングテストの免除を認められた者以外でリスニングテストを受験しなかった者は、英語を受験しなかったものとして取り扱う。）
- (5) 個別学力検査等における選択教科、音楽実技の選択種目及び後期日程の体育実技の選択種目を課す募集区分に出願する者は、出願時に教科・種目の選択を行うこと。
- (6) 選抜試験の結果によっては、合格者が募集人員に満たない場合がある。
- (7) 国公立大学（※独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の学校推薦型選抜・総合型選抜に合格した者は、本学の個別学力検査を受験しても、入学許可は得られない。ただし、特別の事情があり、当該入試を実施する大学の定める入学辞退手続により入学の辞退を許可された場合はこの限りではない。
※公立大学協会ホームページ参照。
- (8) 1つの国公立大学に入学^②手続を行った者は、これを辞退して他の国公立大学に入学^②手続を行うことはできない。ただし、「後期日程」の合格者で入学^②手続を完了した者が、「前期日程」の追試験を受験し合学者となった場合にはこの限りではない。
- (9) 大学入学共通テスト受験票及び本学受験票は、個別学力検査等受験、入学^②手続及び入試成績の開示請求の際にも必要となるので、紛失したり汚損したりすることのないように大切に保管しておくこと。
- (10) 本学では、受験者に対する宿泊施設の斡旋はしない。
- (11) 過去1年間の入試問題は、入試課入試グループで閲覧することができる。
- (12) 入学者選抜試験に関する問い合わせは、原則として本人が入試課入試グループまで行うこと。
郵便により行う場合は、あて先を明記し、84円分の切手を貼った返信用封筒を必ず同封すること。
- (13) 前期日程に合格し、令和4年3月15日までに入学^②手続を完了した者は、「後期日程」の追試験を受験しても入学許可は得られない。
- (14) 新型コロナウイルス感染症の今後の感染状況によっては、本募集要項に記載の選抜方法とは異なる方法で選抜を実施することがある。

[問い合わせ先]

〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地

京都教育大学 入試課入試グループ

TEL 075-644-8161

（土・日曜日、祝日及び年末年始を除く、9時から12時30分、13時30分から17時）

FAX 075-642-5466

17. 新型コロナウイルス感染症対策に伴う対応等

本学の一般選抜に出願し、新型コロナウイルス感染症等に罹患したなどの理由で受験ができなかった者を対象として、追試験を以下のとおり実施する。

- (1) 【前期日程・後期日程】追試験の日時及び場所

追試験実施日 令和4年3月22日（火）

追試験実施場所 京都教育大学 京都市伏見区深草藤森町1番地

- (2) 申請方法

本試験当日までに、必ず本学入試課入試グループに電話連絡し、追試験申請についての指示を受けること。また、追試験申請に必要な書類を「書留速達便」で郵送すること。

入学者選抜試験に関する個人情報の取扱いについて

本学が実施する入学者選抜試験において取得した個人情報については、次のとおり取扱います。

1. 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人京都教育大学個人情報保護規程」に基づき取扱います。
2. 出願書類等に記載された氏名、住所その他の個人情報については、①出願処理、②入学者選抜試験の実施、③合格発表、④入学手続業務、⑤入学者選抜方法改善のための調査・研究及びこれらに付随する業務の実施のために利用します。
3. 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日、高等学校等コード、受験番号、大学入学共通テストの受験番号、合格及び入学手続に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学へ提供します。
4. 出願書類等に記載された個人情報及び入学者選抜試験の成績は、入学者のみ入学後の①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（奨学金、授業料免除、健康管理等）、③授業料等に関する業務を行うために利用します。
5. 入学後の学生生活支援のため京都教育大学生生活協同組合から申し出があった場合は、利用目的を限定した上で合格者の出願書類等に記載された個人情報のうち氏名及び住所を提供する場合があります。

令和4年度 京都教育大学教育学部 入学資格（出願資格） 審査申請書

フリガナ				整理番号	※		
氏名							
生年月日	昭和・平成	年	月	日	男・女	年齢	歳
現住所	〒			電話（ ）	—		
連絡先 (氏名) <small>現住所と異なる場合は記入すること</small>	〒			電話（ ）	—		
学歴（初等教育欄には小学校に相当する学校を、中等教育欄には中学校及び高等学校に相当する学校を記入すること。）							
初等教育 (小学校)		年	月	～	年	月	卒業・卒業見込 その他()
		年	月	～	年	月	卒業・卒業見込 その他()
中等教育 (中学校・ 高等学校)		年	月	～	年	月	卒業・卒業見込 その他()
		年	月	～	年	月	卒業・卒業見込 その他()
学習歴（専修学校や各種学校等における学習歴や大学の科目等履修生としての単位の取得などの個人の学習歴を記入すること。）							
		年	月	～	年	月	卒業・卒業見込 その他()
		年	月	～	年	月	卒業・卒業見込 その他()
		年	月	～	年	月	卒業・卒業見込 その他()
		年	月	～	年	月	卒業・卒業見込 その他()
		年	月	～	年	月	卒業・卒業見込 その他()
社会における実務経験や取得した資格、その他活動、貢献その他の特記すべき事項							
		年	月	～	年	月	
		年	月	～	年	月	
		年	月	～	年	月	
		年	月	～	年	月	
		年	月	～	年	月	

- (注) 1. 申請者本人が記入すること。
 2. 学歴、学習歴に学校名等を記入する場合は、卒業、卒業見込、その他のいずれかを○で囲み、その他に○を付した場合は、()内に中退等の具体的な内容を記入すること。
 3. 学習歴、社会における実務経験や取得した資格、その他活動、貢献その他の特記すべき事項の記載事項については、証明する認定書等の資料を添付すること。
 4. ※印は記入しないこと。

認定欄	※ 合・否
-----	----------